



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

バルーンフェスタ 3年ぶり 第4回写真コンテスト

コロナ禍の影響で2022年のバルーンフェスタは「3年ぶりの空で会いましょう」をスローガンに55機が参加して開催されました。快晴すぎるほどの天候に恵まれ、午後の競技が「つむじ風」発生予測等から4日間中止されました。写真コンテストの表彰式は12月18日3年ぶりに実施、各賞は写真のとおりでした。



上下に広がる幻想的な世界
渡邊 梨乃さん(福岡市 聴覚障害者)

最優秀賞

<2点>



太陽の明かりとバルーンの出会
副島 肇さん(聴覚障害者)



なないろ
田中 誠さん

審査員 特別賞

<2点>



嘉瀬川と人々と
山口 徹さん(福岡県 聴覚障害者)

北村審査委員長から講評があり、「コロナ禍の3年ぶり」というコンテストの特長を象徴する作品が少なかった。次回は募集時に「テーマ」を設定して応募してもらうことにしたい。一とのコメントがありました。

優 秀 賞<5点>

最優秀賞の渡邊 梨乃さん(福岡市)、副島 肇さん(伊万里市)にはシステムラボラトリー(株)安河内 取締役から一眼レフカメラが授与されました。

今回のコンテストの全応募作品は「3年ぶりのバルーンフェスタ2022」(仮)として写真集が3月に発行予定です。



追いかけて
香田 佳子さん



脱いだらすごいんです
大川内 裕美さん



街中のバルーンとフラッグ
伊東 康博さん



朝日を浴びるバルーン
多久島 敬太さん(聴覚障害者)



新名所 バルーン塔
清田 大輔さん

役に立つ 新シリーズ 【7】

第7回は補聴器利用中の70代女性からの相談です。

補聴器の調整が不適切だった事例

補聴器をずいぶん前に購入したが、うるさくて頭が痛くなる。一日中つけていることは無理。他の補聴器装用者も不快な状態を我慢されているのでしょうか?と相談がありました。利用中の補聴器を調べてみると、必要以上に大きな利得(出力)で音が出ていることが分かりました。とてもつけていられないほどの大きさでした。



認定補聴器技能者がいない補聴器取扱店

購入元の補聴器取扱店に利得が強過ぎるのでもっと下げて、聞こえやすく調整していただくよう文書でお願いをしました。ところが、「レシーバーが不調」「古くてこれ以上の調整はできない」「もっと性能の良い補聴器に買い替えないと聞こえるようにならない」、との返答がありました。

この補聴器取扱店は認定補聴器技能者の資格を保有されていませんでした。

補聴器相談医にこの状況を伝えたと「調整の依頼内容がまったく理解できていないので期待した結果は得られないでしょう」とのことでした。消費生活センターの弁護士からは、「技能のない取扱店でやりとりをしても無駄なので上手にできる店舗で調整して掛かった費用を購入元に請求するのが現実的でしょう」とのアドバイスがありました。



補聴器専門店で調整できた

センターと協力関係にある補聴器専門店で調整をお願いしたところ、無償で早く引き受けていただきました。補聴器を購入して何年も経ち諦めかけていたが、ようやく聞こえやすい補聴器になったと相談者から喜びの声が寄せられました。

補聴器は認定補聴器技能者が在籍している店舗で購入することが重要です。

福祉施設職員向け手話講座開講

12月24日の開講は雪のため1月からに延期されました。

●巡回聞こえの相談 ● 予約制

1月25日(水) 10時～15時 江北町公民館 2階研修室
2月21日(火) 10時～15時 佐賀市川副支所 相談室1
3月29日(水) 10時～15時 武雄市文化会館 小会議室B

自転車ヘルメット着用 努力義務 4月から



道路交通法が改正され自転車に乗るときのヘルメットの着用が全年齢で努力義務になりました。これまでは、13歳未満の子供が乗る場合保護者にかぶせる努力義務になっていました。罰則はありません。



九州・沖縄ブロックの情報提供施設の研修会・施設長会議が3年ぶりに福岡県のクローバープラザでありました。(12月8日～9日)

全体研修会では全国情報協議会中西理事長が障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について講演されました。

法律の目的

- ・全ての障害者があらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用・意思疎通がきわめて重要
- ・障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進して、共生社会の実現(略称) 情報アクセシビリティ法の基本理念は
- ・本人が障害の種類・程度に応じた情報取得などの手段を選択できるようにする
- ・地域にかかわらず等しく情報取得などができるようにする
- ・障害者でない人と同じ情報を時間差なく取得できるようにする

基礎的環境整備と合理的配慮については次のとおり。

- ・施設設備の整備
- ・専門的な人材配慮
- ・一人ひとりの障害の特性に合わせた配慮



●みみサポーター養成講座 ● 要予約 (定員10名 先着順)

加齢性難聴や情報保障について学びます。

2月10日(金) 10時～12時

2月24日(金) 10時～12時

3月10日(金) 10時～12時



佐賀県聴覚障害者サポートセンター 多目的交流室

●聴こえのセミナー ● 予約制

3月5日(日) 10:00～11:30

佐賀商工ビル7階 大会議室



『あきらめない補聴器選び』～補聴器トレーニングの方法と聴覚関連機器の紹介～

編集後記：新しい年になりました。今年もよろしくお願いします。(5)

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30～18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始